

ケストレル錠 [KESTREL]

## ケストレル錠 **DME**

ケストレル錠は、糖尿病性黄斑浮腫（DME）の治療に使用される。ケストレル錠は、ケストレル錠 B2301錠と同等である。

ケストレル錠は、ケストレル錠 B2301錠と同等である。

ケストレル錠は、ケストレル錠 **B2301**錠と同等である。

ケストレル錠は、ケストレル錠 **B2301**錠と同等である。<sup>9,13</sup>

- 9. ケストレル錠は、ケストレル錠 B2301錠と同等である。2022年09月4日。
- 10. Brown DM, et al. Am J Ophthalmol 2022;238:157-172. 2022年09月1日。DOI: <https://doi.org/10.1016/j.ajo.2023.07.012> \*  
COI: ケストレル錠は、ケストレル錠 B2301錠と同等である。5. ケストレル錠は、ケストレル錠 B2301錠と同等である。3. ケストレル錠は、ケストレル錠 B2301錠と同等である。
- 11. Wykoff CC, et al. Am J Ophthalmol 2023. in press  
DOI: <https://doi.org/10.1016/j.ajo.2023.07.012> \*  
COI: ケストレル錠は、ケストレル錠 B2301錠と同等である。4. ケストレル錠は、ケストレル錠 B2301錠と同等である。7. ケストレル錠は、ケストレル錠 B2301錠と同等である。1. ケストレル錠は、ケストレル錠 B2301錠と同等である。
- 12. ケストレル錠は、ケストレル錠 B2301錠と同等である。CSR CRTH258B2301錠 12.2.2
- 13. ケストレル錠は、ケストレル錠 B2301錠と同等である。CSR CRTH258B2301錠 12.2.3

ケストレル錠

ケストレル錠は、ケストレル錠 B2301錠と同等である。52. ケストレル錠は、ケストレル錠 B2301錠と同等である。3mg/6mg錠と同等である。2mg錠と同等である。

ケストレル錠は、ケストレル錠 B2301錠と同等である。18. ケストレル錠は、ケストレル錠 B2301錠と同等である。<sup>\*1</sup> ケストレル錠は、ケストレル錠 B2301錠と同等である。566錠と同等である。61錠と同等である。

\*1

- ケストレル錠は、ETDRS（early treatment diabetic retinopathy study）試験で、78.23%の患者が、ケストレル錠 B2301錠と同等である。320μm錠と同等である。

- HbA1c 10% 以下 1 未満 2 未満 未満

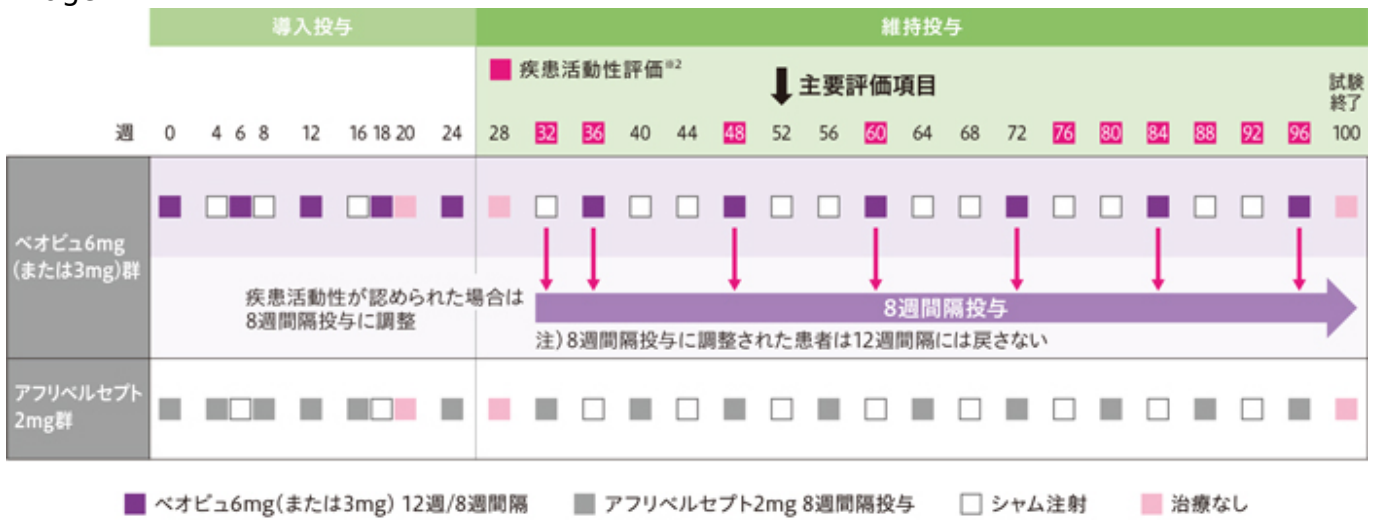
試験期間

試験期間中に実施される評価項目

試験期間

試験期間中に実施される評価項目は、3mg、6mg、2mg、1、1、1、3mg、6mg、6、2mg、4、5、3mg、6mg、12、2mg、8、3mg、6mg、8 週間隔投与

Image



※2 試験期間中に

疾患活動性が認められた場合は8週間隔投与に調整される。調整された患者は12週間隔には戻さない。

試験期間中に8週間隔投与

VEGF 評価項目は、試験期間中に実施される。疾患活動性が認められた場合は8週間隔投与に調整される。

試験期間中に8週間隔投与

試験期間

試験期間

試験期間中に疾患活動性が認められた患者は52週間

試験期間中に

試験期間中に疾患活動性が認められた患者は40週間52週間





項目		ベオビュ 3mg群 (n=190)	ベオビュ 6mg群 (n=189)	アフリベルセプト 2mg群 (n=187)
性別、症例数 (%)	男性	119 (62.6)	110 (58.2)	126 (67.4)
	女性	71 (37.4)	79 (41.8)	61 (32.6)
年齢、症例数 (%)	< 65歳	97 (51.1)	104 (55.0)	93 (49.7)
	≥ 65歳	93 (48.9)	85 (45.0)	94 (50.3)
	平均値±標準偏差	64.4 ± 9.76	62.4 ± 10.14	63.9 ± 10.09
日本人、症例数 (%)		20 (10.5)	19 (10.1)	22 (11.8)
糖尿病の型、症例数 (%)	1型	10 (5.3)	12 (6.3)	6 (3.2)
	2型	180 (94.7)	177 (93.7)	181 (96.8)
HbA1c (%), 平均値±標準偏差		(n=190) 7.52 ± 1.160	(n=188) 7.69 ± 1.067	(n=187) 7.44 ± 1.132
糖尿病黄斑浮腫の罹病期間 (ヵ月), 平均値±標準偏差		12.5 ± 30.82	9.4 ± 19.47	9.6 ± 24.17
最高矯正視力スコア (文字), 平均値±標準偏差		65.7 ± 11.09	66.6 ± 9.67	65.2 ± 12.38
黄斑浮腫の種類、 症例数 (%)		(n=188)	(n=186)	(n=182)
	局所性	61 (32.4)	59 (31.7)	48 (26.4)
	びまん性	127 (67.6)	127 (68.3)	134 (73.6)
中心窩網膜厚 (μm), 平均値±標準偏差		456.0 ± 118.04	453.1 ± 123.42	475.6 ± 135.84
フルオレセイン血管 造影での血管漏出、 症例数 (%)		(n=188)	(n=186)	(n=182)
	あり	188 (100)	186 (100)	182 (100)
	なし	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
IRF、症例数 (%)	あり	190 (100)	189 (100)	184 (98.4)
	なし	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.6)
SRF、症例数 (%)	あり	60 (31.6)	62 (32.8)	61 (32.6)
	なし	130 (68.4)	127 (67.2)	126 (67.4)
ETDRS糖尿病 網膜症重症度、 症例数 (%)		(n=185)	(n=186)	(n=184)
	1. 網膜症なし	1 (0.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
	2. 毛細血管瘤のみ	3 (1.6)	1 (0.5)	3 (1.6)
	3. 軽症非増殖網膜症	56 (30.3)	57 (30.6)	52 (28.3)
	4. 中等度非増殖網膜症	51 (27.6)	54 (29.0)	59 (32.1)
	5. 重・中等度非増殖網膜症	25 (13.5)	15 (8.1)	16 (8.7)
	6. 重症非増殖網膜症	39 (21.1)	45 (24.2)	40 (21.7)
	7. 軽症増殖網膜症	6 (3.2)	3 (1.6)	7 (3.8)
	8. 中等度増殖網膜症	4 (2.2)	8 (4.3)	5 (2.7)
	9. 危険な増殖網膜症	0 (0.0)	3 (1.6)	2 (1.1)
	10. 非常に危険な増殖網膜症	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	11. 進展した増殖網膜症	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
12. 非常に進展した増殖網膜症	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	

0.05mLに6mgのメチルメチオキシフェンタミド水和物を含有する錠剤を、1日1回、5歳以上の小児に投与する。12歳以上の小児に投与する場合は、1日1回、0.05mLに6mgのメチルメチオキシフェンタミド水和物を含有する錠剤を投与する。8歳以上の小児に投与する場合は、1日1回、0.05mLに6mgのメチルメチオキシフェンタミド水和物を含有する錠剤を投与する。7.1 小児に投与する場合は、0.05mLに6mgのメチルメチオキシフェンタミド水和物を含有する錠剤を投与する。7.3 小児に投与する場合は、0.05mLに6mgのメチルメチオキシフェンタミド水和物を含有する錠剤を投与する。17.1.3 17.1.4

[0.05mLに6mgのメチルメチオキシフェンタミド水和物を含有する錠剤](#)

[0.05mLに6mgのメチルメチオキシフェンタミド水和物を含有する錠剤](#)

[0.05mLに6mgのメチルメチオキシフェンタミド水和物を含有する錠剤](#)

---

**Source URL:** [https://prod.pro.novartis.com/jp-ja/products/beovu/dme/clinical\\_01](https://prod.pro.novartis.com/jp-ja/products/beovu/dme/clinical_01)